



スイッチ検出のトラブルシューティング

- ・ [スイッチ検出の問題のトラブルシューティング \(1 ページ\)](#)

スイッチ検出の問題のトラブルシューティング

ACI モード スイッチ ソフトウェアには、包括的なリーフおよびスパイン スイッチの検出検証プログラムが含まれています。スイッチが検出モードでスタックした場合には、検証プログラムをスイッチの CLI コマンドで起動してください。

検証プログラムは、次のテストを実行します。

1. システム状態 : `topSystem` 管理対象オブジェクト (MO) の状態を確認します。
 1. 状態が「サービス停止中 (out-of-service)」の場合、スケジュールされたアップグレードがないかどうかを確認します。
 2. 状態が「ブートスクリプトのダウンロード中 (downloading bootscript)」の場合、ブートスクリプトのダウンロードに失敗しています。失敗が報告されます。スイッチが L3out スパインの場合、プログラムはさらにブートストラップダウンロードの状態をチェックし、障害があれば報告します。
2. DHCP ステータス : TEP IP、ノード ID、`dhcpResp` MO から割り当てられた名前などの DHCP ステータスと情報を確認します。
3. AV の詳細 : APIC が登録されているかどうか、および APIC に有効な IP アドレスがあるかどうかを確認します。
4. IP 到達可能性 : `iping` コマンドを使用して、アドレス割り当て元 APIC への IP 到達可能性を確認します。この状態を再テストするには、`show discoveryissues apicipaddress` コマンドを使用します。
5. インフラ VLAN の受信 : `lldpInst` MO にインフラ VLAN の詳細が存在するかどうかを確認します。このスイッチが APIC のないポッドに属している場合、インフラ VLAN の詳細は存在しないため、テスト結果のこのセクションは無視できます。

6. LLDP隣接関係：LLDP隣接関係の存在と、ワイヤリングの不一致の問題をチェックします。LLDPの問題により、インフラVLANの不一致、シャーシIDの不一致、フロントエンドポートへの接続がないなどの障害レポートが生成される可能性があります。
7. スイッチバージョン：スイッチの実行中のファームウェアバージョンを報告します。APICのバージョンも報告します（利用可能な場合）。
8. FPGA/BIOS：スイッチのFPGA/BIOSバージョンの不一致をチェックします。
9. SSL検証：**acidiag verifyssl -sserialNumber** コマンドを使用して、SSL証明書の詳細の有効性を確認します。
10. ポリシーのダウンロード：**pconsBootStrap MO** をチェックして、APIC (PM シャード) への登録が完了しているかどうか、およびすべてのポリシーが正常にダウンロードされたかどうかを確認します。
11. 時間：スイッチの現在の時刻を報告します。
12. ハードウェアステータス：**eqptCh**、**eqptFan**、**eqptPsu**、**eqptFt**および**eqptLC MO** からモジュール、電源、およびファンのステータスを確認します。

テストの手動実行

スイッチ検出検証プログラムを実行するには、スパインまたはリーフスイッチのCLIコンソールにログインし、次のコマンドを実行します。

```
show discoveryissues [apic ipaddress]
```

テストの成功例

次の例は、テストが成功した場合のスイッチ検出検証プログラムの出力を示しています。

```
spine1# show discoveryissues

Checking the platform type.....SPINE!
Check01 - System state - in-service [ok]
Check02 - DHCP status [ok]
        TEP IP: 10.0.40.65 Node Id: 106 Name: spine1
Check03 - AV details check [ok]
Check04 - IP reachability to apic [ok]
        Ping from switch to 10.0.0.1 passed
Check05 - infra VLAN received [ok]
        infra vLAN:1093
Check06 - LLDP Adjacency [ok]
        Found adjacency with LEAF
Check07 - Switch version [ok]
        version: n9000-14.2(0.167) and apic version: 5.0(0.25)
Check08 - FPGA/BIOS out of sync test [ok]
Check09 - SSL check [check]
        SSL certificate details are valid
Check10 - Downloading policies [ok]
Check11 - Checking time [ok]
        2019-08-21 17:15:45
Check12 - Checking modules, power and fans [ok]
```

テストの失敗例

次の例は、検出機能に問題があるスイッチのスイッチ検出検証プログラムの出力を示しています。

```
spine1# show discoveryissues

Checking the platform type.....SPINE!
Check01 - System state - out-of-service [FAIL]
    Upgrade status is notscheduled
    Node upgrade is notscheduled state
Check02 - DHCP status [FAIL]
    ERROR: discover not being sent by switch
    Ignore this, if the IP is already known by switch
    ERROR: node Id not configured
    ERROR: Ip not assigned by dhcp server
    ERROR: Address assigner's IP not populated
    TEP IP: unknown Node Id: unknown Name: unknown
Check03 - AV details check [ok]
Check04 - IP reachability to apic [FAIL]
    please rerun the CLI with argument apic Ip
    (show discoveryissues apic <ip>) to check its reachability from switch
Check05 - infra VLAN received [FAIL]
    Please ignore if this switch is part of a pod with no apic
Check06 - LLDP Adjacency [FAIL]
    Error: spine not connected to any leaf
Check07 - Switch version [ok]
    version: n9000-14.2(0.146) and apic version: unknown
Check08 - FPGA/BIOS out of sync test [ok]
Check09 - SSL check [ok]
    SSL certificate details are valid
Check10 - Downloading policies [FAIL]
    Registration to all PM shards is not complete
    Policy download is not complete
    Pcons bootstrap is in triggered state
Check11 - Checking time [ok]
    2019-07-17 19:26:29
Check12 - Checking modules, power and fans [FAIL]
    Line card state is testing
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。